

◆授業のポイント◆

- ・ 既習事項を生かした言語活動の工夫（概要をとらえさせる指導 / 「Opinion Time」）

英語科学習指導案

日 時 平成22年6月4日（金）2校時
学 級 3年6組（男子18名 女子18名 計36名）
授業者 教 諭 吉 田 弘 行

1 単 元

NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3

Unit 3 “Our Sister in Nepal”

2 単元について

本単元は、ネパールのフォスタープログラム（里親制度）を通じた若葉中学校の生徒とネパールのミーナとの交流が取り上げられている。地球上には貧富の差が依然として存在し、世界の総人口の80%の人々は発展途上国に生を受け、今なお貧困から抜け出せないでいる。ネパールも経済的には発展途上国であり、保健衛生や教育の面等で様々な問題を抱えている。そのような世界の状況を知り、フォスタープログラムへの関心を高め、ネパールの少女との交流を通して先進国と発展途上国との生活の違いを知ることは、異文化の人々とスムーズなコミュニケーションを図るうえで重要である。言語材料としては、現在完了形の経験・完了や不定詞の形容詞的用法・副詞的用法が扱われている。これらの言語材料を活用し、生徒は自分の体験について述べたり、友達に質問をしたりして、現在のことだけではなく過去にさかのぼって友達と対話ができる内容となっている。

本学級の生徒は、全体的に英語学習に対して意欲的で、授業の際には自主的に発表する姿が見られる。授業中に行なわれる英語での質疑応答では、質問の意味や文章で答える方法が理解できない生徒もいるが、周りとは協力して取り組んでいる。自分が分からない場合は、積極的に質問をして真剣に学習しようと努める姿が見られる。また、口頭表現活動において英語を使って積極的に自分の意見を相手に伝えようとする生徒が多いが、基本的な文法の間違いが多かったり、相手の言っていることが理解できずうまくコミュニケーションが図れなかったりする生徒も見られる。さらに、読解においては読む速さの個人差が大きく、分からない単語にこだわってしまい全体を見通した読み方ができず内容が理解できない生徒もいる。

指導にあたっては、ネパールの生活について理解させ、彼らの生活について自分たちとの違いを考えさせ、友達と意見交換させたい。意見交換では、考えが充実するように、ネパールについて、生活水準や宗教など補足の資料を提示したり、人々の生活や町の様子の画像を提示したりしながらすすめたい。単元のまとめとして、学ぶ喜びを感じているミーナの手紙を読み取り、彼女への返事を書かせたい。返事の手紙では、不定詞の形容詞的用法を使って、日本での生活の様子を表現させたり、現在完了形を使って、今まで頑張ってきていることについて表現させたりしたい。また、ペア学習の際に適切な英文でコミュニケーションをとっているか、一人一人が正しく音読したり、より正確に内容理解をしたりしているかを見届けながら指導する必要があるため、最初にスキーマの活性化を図った後、概要を把握させ、生徒の理解状況を確認しながら必要に応じて詳細について理解を深めさせたい。

国語科との言語活動の関連として、2年生で学習した「読むこと」の「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」が挙げられる。

3 単元の目標

- (1) フォスタープログラムやミーナの生活について、積極的に読み取ったり、既習の事項を用いて表現したりしようとしている。
- (2) 読み取った内容を基に、既習の表現を用いてミーナへ返事を書くことができる。
- (3) 本文の内容を読み取り、ミーナの生き方や考え方についての友達の意見を聞き取ることができる。
- (4) フォスタープログラムやミーナの生活について知っている。

4 単元の指導計画

【Goal of Unit 3：ネパールについて知り、ミーナの手紙に返事を書こう】（は本時扱いを示す）

	主な学習内容	指導の重点				基礎的・基本的な知識・技能を 活用させるための工夫
		L	S	R	W	
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 単元の学習計画の確認 ・ 新出語句 (Starting Out・Dialog) ・ 概要理解 ・ 新出の文構造 (現在完了形) 	○		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文 今学期のトピック「自分のお気に入り」 ・ 新出の文構造を用いた口頭練習
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Starting Out) ・ 「Opinion Time」 	○	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の文章作成 ・ 概要把握 ・ 「Opinion Time」における意見交換
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Dialog) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 概要把握
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 新出語句 (Reading for Communication1・2) ・ 新出の文構造 (不定詞) 		◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 新出の文構造を用いた口頭練習
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Reading for Communication1) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の文章作成 ・ 概要把握
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Reading for Communication2) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 概要把握
第7時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ ミーナへの手紙の作成 ・ 単元の総まとめ 		○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 既習事項を用いた本文に関する意見交換

5 単元の評価規準

I コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	II 表現の能力	III 理解の能力	IV 言語や文化についての 知識・理解
ア フォスタープログラムについて積極的に理解しようとしている。 イ 新出の文構造を意欲的に用いようとしている。 ウ 間違いを恐れずに、既習の表現を使って友達と意見交換をしようとしている。 エ 本文の内容に対する自分の考えや意見を意欲的に表現しようとしている。	ア 既習の表現を用いて自分の考えやその理由を書くことができる。 イ 新出の文構造を適切に使用することができる。 ウ 読み取った情報を基に自分の考えや意見を話すことができる。 エ ミーナへの返事を書くことができる。	ア フォスタープログラムについて読み取ることができる。 イ バザーの様子について読み取ることができる。 ウ ミーナの生活について読み取ることができる。 エ 友達の意見を理解することができる。	ア 新出単語の意味・用法を知っている。 イ フォスタープログラムについて知っている。 ウ ミーナの生活について知っている。 エ 意見交換の仕方を知っている。

6 本時の実際 (6 / 7)

(1) 目標

- ① 既習の表現を使って積極的にミーナについての自分の考えや気持ちを表現しようとしている。
- ② ミーナについて、自分の気持ちや意見を話すことができる。
- ③ ミーナの手紙や友達の意見について理解することができる。
- ④ 自分とミーナの生活の違いを知っている。

(2) 鹿児島Standardレベル

学 習 の ね ら い		
Step	Skill	Description
4	Strategy 4	会話を続けるために、相づちを打つことができる。 Really? I see. Oh, do you? 等を使える。
4	Reading 4	説明文・物語・Eメールを読み、書き手が最も伝えたいメッセージや概要を理解できる。 概要把握のための質問に答える。
4	Speaking 3	聞いたり読んだりしたことに対して、友達や先生に英文1～2文程度で意見や感想を述べるができる。 Because ～. I think ～. 等を用いて述べる。
4	Writing 1	身近なトピックについて、思い・考え・意見・理由などを4文程度で書くことができる。 「自分のお気に入り」について表現する。

(3) 授業設計の工夫

① 既習事項を生かした言語活動の工夫 (概要をとらえさせる指導)

これまでの学習の中で習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用させ、定着させるために、内容理解を伴う授業を展開する場合に、まず始めに概要をとらえる読み方をさせることにした。そうすることで、生徒はスキーマを活用して英文に接し、その内容に対して予想しながら積極的に内容を理解しようと努めると考えた。そのような読解の仕方を習慣化させることで、生徒は習得した知識・技能を具体的に活用する方法を身に付けることができ、意欲的に内容理解に取り組み、思考力が深まり、内容に対する理解がより高まると考えた。具体的には「ネパールの子どもたち」と「ネパールの街角の井戸に集まる人の様子」の画像を生徒に見せ、ミーナやネパールの現状に対するスキーマを活性化させ、本時の概要をとらえさせる。

② 既習事項を生かした言語活動の工夫 (「Opinion Time」)

理解した内容に対する自分なりの意見や感想を生徒同士で述べ合う場として、「Opinion Time」を設定することにした。具体的には、「Do you want to be like Meena?」についての自分の考えや意見を友達と意見交換し、既習事項を用いた言語活動を行う。この活動を通して生徒の思考力・判断力・表現力等を効果的に育成でき、普段から自分が使えそうな表現を蓄積しようとする意欲をもって、積極的に言語材料を習得しようとする生徒が育成できると考えた。

(4) 展 開

時間(分)	学 習 過 程	主な学習活動	指導上の留意点と評価 ㊦ 基礎・基本の定着 ㊧ 興味・関心・意欲・態度の育成 ※ 授業のポイントについて ◎ 評価項目 ○ 留意点
7	1 Greetings 2 Daily Training 3 Review	1 日常会話を含んだあいさつをする。 2 学期トピック作文の口頭練習をする。 3 前時の復習をする。	㊧ 英語学習の雰囲気をつくる。 ㊦ 学期トピック作文をペアで練習する。 ○ 「自分のお気に入り」についてペアで対話させる。 ◎ 4文程度で表現することができたか。 (I-ウ)
38	4 Today's Goal 5 Comprehension 6 Reading Aloud 7 Opinion Time 8 Presentation 9 Writing a Comment	4 本時の学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ミーナの手紙を読み取り、ミーナについて友達と意見交換をしよう </div> 5 概要をとらえた後、内容を理解する。 6 本文を音読する。 7 本文の内容について意見交換をする。 ア ミーナのようになりたいかどうかについて判断する。 イ 自分の判断に理由付けをしたり、考えを付け加えたりしながら意見交換をする。 8 対話を発表する。 9 発話した自分の意見を書く。	㊧ 学習目標を把握させ、意欲的に学習に取り組ませるようにする。 ※ 画像を示しながらスキーマを活性化させ、概要をとらえさせる。 ○ スキーマを活性化させる。 ○ 本文理解のための質問を通して内容を具体的に理解させる。 ◎ 本文の内容を理解することができたか。 (III-ウ) ㊦ 内容をふり返りながら音読をする。 ○ 読み取った内容を基に自分の考えを述べさせ、生徒の多様な考えを引き出す。 ※ 理由や意見を表現させる際に、Daily Trainingで使った表現を使用させる。 ◎ 積極的に意見交換ができたか。 (I-エ, II-ウ) ○ 複数のペアに発表させる。 ㊦ 自分の意見をワークシートに正確に記録させる。
5	10 Consolidation 11 Self-Evaluation 12 Notice 13 Greetings	10 本時のポイントをまとめる。 11 自己評価をする。 12 次時の予告を聞く。 13 終わりのあいさつをする。	○ 本文理解のための質問等を活用する。 ※ 「E-card」を活用し、自宅で復習すべき点や学習内容を明確にする。 ㊧ 本時のポイントの確認から自己評価を行わせ、次時への動機付けになるようにする。